

令和5年度 自己評価

令和6年3月14日

本荘カトリックこども園

1. 今年度の園運営について

令和5年度は新園舎での教育・保育活動を行う最初の年ということで、新しい施設に
適応した教育・保育活動の新たな構築、子どもたちへの安全面の徹底、また各部屋のレ
イアウト変更に伴う教職員の新たな動きに対応した連携の強化が課題となりました。

また5月には新型コロナウイルスの位置づけが「5類感染症」となったことに伴い、
これまで縮小されていた園行事等の積極的な展開が求められる一年となりました。

以上のことが課題となる中で過ごしたこの一年でしたが、以下のポイントをもとに
行った保護者アンケート及び職員アンケートの結果を踏まえ、園としての評価をまと
めました。

2. 個別の評価項目について

【A】 十分達成されている 【B】 達成されている

【C】 取り組まれているが、成果が十分ではない 【D】 取り組みが不十分である

評価項目	評価のポイント	結果
教育目標・保育	園の教育目標のもと、集団生活の中で一人ひとりの発達の過程や様々な姿を捉え、その状況を踏まえた援助や指導が行われていたか。また、発達の見通しや活動の予想に基づいて環境を構成していたか。	A
保健・安全・指導	子どもの発達の特徴を理解し、のびのびと行動できるように、職員が危険を取り除いたり、自らの力で安全に行動できる能力を身につけたりできるように健康及び安全に過ごすための取り組みが行われていたか。	A
園内研修・外部研修	子どもの発達の姿を捉えるための園内研修を定期的 に実施したり、日々の子どもの姿について話し合う機 会や外部研修で得た情報を職員間で共通理解するな どの教育保育の質の向上に努めていたか。	A
家庭・保護者との連携	保護者との情報交換の機会を設けたり、連絡帳を活用 したりしながら日々の子どもの成長を伝え合い、家庭 との連携を密にし、信頼関係を築くことができていた か。	A

評価項目	評価のポイント	結果
職員間の連携	定期的なカンファランスを行ったり、情報交換や意見交換などをしたり、保育者同士がコミュニケーションを取り合いながら連携した保育ができていると感じているか。	A
行事について	園の行事や活動、保育参観など、日々の園生活に配慮し、子どもが期待や意欲が持てるような行事内容であったか。また、子どもや保護者同士が交流する場になっていたか。	B
地域との連携	小中学生とのふれあい、寿荘訪問、職場体験など学校や地域の人達との交流を積極的に行っていたか。	C
子育て支援	園開放日、未就園児のコアラちゃん教室、預かり保育など、保護者のニーズにあった活動や支援ができていたか。	B

3. 園としての総合評価と、来年度に向けて

個別の評価項目の結果を踏まえて、令和5年度の自己評価を右の通りとさせていただきます。

結果

B

園舎が新しくなり、教育・保育に用いる備品も更新されたことから、子どもたちが安全に、のびのびと過ごす環境を整えることができました。教育・保育に携わる保育教諭や保育補助者の連携のもと、3歳未満児・3歳以上児の枠にとどまらない全学年の子どもたちが、意欲的に学び、体を動かす積極的な教育・保育を展開することができました。

園外研修に関して、園舎内に無線LANを整備したことにより、オンラインでの職員研修のプログラムを積極的に活用し、教育の質の向上に努めることができました。園内研修や安全点検などの内容も新園舎での教育・保育の質を高めるべく充実したものとなりました。

園行事や園開放日等のプログラムについては新型コロナウイルスの影響が緩和されたことに伴い、保護者等の参加を積極的に行うことができた半面、新しい園舎での初めての開催ということで、試行錯誤的な部分があったことが否めません。今年の実施経験を通して、来年度はより充実した行事を行うことができるよう、引き続き努力してまいります。

地域との連携は、新型コロナウイルスが5類感染症に位置付けられたとはいえ、まだ以前のような活動ができないまま一年が終わってしまいました。関係機関と連絡を取りながら、来年度は従来のような展開ができないかを模索していきたいと思っております。